

NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

KECA ニュース =No.62=

【巻頭言】

エコアクション 21 (EA21) で環境と経営の融合を目指し 環境経営システムの構築を支援する

～環境へ配慮した取組を事業者様の経営システムに組込む～

理事長 河野健三

1. KECA の EA21 事業の進め方

- (1) KECA のエコアクション 21 事業 (EA21 事業) は、2006 年から事業者様と KECA がコンサル契約を結び、CD ソフトを活用した方式で事業者様の EA21 環境経営システムの構築・運用を支援して参りました。この EA21 事業により今の KECA があることは論をまちません。
- (2) この度の EA21 ガイドライン 2017 年度版は、「事業者様が経営のなかに環境への取組みを位置付ける」ことを念頭に策定されました。
EA21 の理念についての私の理解は、「私たちの生業と生活は自然からの恵みによって成り立っているので、事業者様がこの大切な自然を維持することにより企業価値を向上し、社会から高い評価と信頼を得る」にあると考えています。
- (3) 事業者様はそれぞれ独自の経営システムをお持ちです。又、新しいガイドラインでは「本業を通じた環境への取組」が要求されております。
それぞれの経営システムの業務単位の中で、環境へ配慮する取組を進めれば、環境と経営を一体化した事業者様の環境経営システムを構築できると考えます。
- (4) 冒頭に掲げたテーマの達成を目指して、EA21 の事業者様を増やす「EA21 普及セミナー」と事業者様の中で活動する社員を支援する「事業者向け環境教育セミナー」を開催します。



2. EA21 普及セミナーの開催

KECA は神奈川県中小企業団体中央会の会員として長年に亘り EA21 普及セミナーに協力してきました。この協力関係を更に発展させると共に KECA の地域活動の中心である支部を中心とした KECA 主催の EA21 普及セミナーを開催していきます。EA21 中央事務局が掲げている認証取得企業 30,000 社へ向けてセミナー内容の充実を含め取組んでいきます。

3. 事業者向け環境教育セミナーの開催

先月、環境教育インストラクター応募資格セミナーの受講者を対象とした事業者向けのフォローアップ研修会を開催しました。事業者様の社内で EA21 をはじめとした環境経営システムを維持・発展させている社員の皆様を支援する事業者向けの環境教育セミナーを開催します。EA21 審査員の皆様はもとより会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

も く じ

P1	エコアクション21で環境と経営の融合	理事長 河野健三
P2	岡本正義さん環境大臣賞受賞	(事務局)
P3	イベント情報	(事務局)
	委員会活動の報告：環境教育インストラクター研修会他	環境教育委員会 岡本正義
P4	委員会活動の報告：かながわ環境・エネルギー学校派遣事業	環境教育委員会 岡本正義
	支部活動の報告：すかっ子セミナー（小中学生の土曜体験プログラム）他	横須賀三浦支部 高橋弘二
P5	支部活動の報告：長坂地区（沢山池）里山づくり収穫祭他	横須賀三浦支部 高橋弘二
	支部活動の報告：かながわ環境教室の出前授業「木に触れて、森や木のはたらき」	湘南支部 小山 稔
P7	支部活動の報告：茅ヶ崎市と藤沢市での環境フェアに出展	湘南支部 西村 堅一郎
P8	支部活動の報告：海老名市サマースクール出前授業	県央支部 高山 進
P9	支部活動の報告：エコアクション21の普及と市民への環境意識の啓発	相模原支部 古屋 伸夫
	委員会活動の紹介：環境管理委員会における各自の発表・展開	環境管理委員会 茂木 照雄
P10	会員投稿：SDGsと企業の取り組み	横浜支部 石黒 芳樹
P11	会員紹介：千葉副理事長の自己紹介	横浜支部 千葉 雅子
P12	新入会員 萬 一豊さんの自己紹介	横浜支部 萬 一豊、第22回通常総会（予定）：5月19日

岡本正義さん（川崎支部・環境教育委員会）
平成29年度 地球温暖化防止活動 環境大臣賞受賞

岡本正義さん（川崎支部・環境教育委員会委員長）が12月4日イイノホール&カンファレンスセンターにおいて、平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞されましたのでご報告します。誠にありがとうございます。受賞者：個人6・団体34（環境教育部門7）

平成29年度 地球温暖化防止活動環境大臣表



渡嘉敷副大臣から表彰状を授与されました



小学校での授業風景

2004年に環境カウンセラーとなり、KECAでの活動を開始し、その後、(公財)日本環境協会こども環境相談員、神奈川県と川崎市の地球温暖化防止活動推進員となり、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県や栃木県などの首都圏の小中高校生や県民、区民、市民、NPO、企業などのあらゆる層に対して環境学習・環境教育を通じた環境保全活動を進められました。

さらに、約13年に渡る経験と専門分野を活かして、エネルギー、地球温暖化、水汚染、大気汚染、ごみや生物多様性など幅広い環境分野について、体験に基づく学習手法、ビジュアルを活用した分かりやすい環境教育プログラムの開発・提供によって、首都圏で約500回、学校・団体数として137校、12,200名に環境教育を実施、温暖化防止などの環境保全意識の向上、環境教育指導者育成に貢献されました。

【イベント情報】

(1) 職場における化学物質管理セミナー

- ・開催日時：2018年3月3日(土)、9:30~12:30
- ・開催場所：フクシア（横浜市西区社会福祉協議会多目的ホール）
- ・詳しくは下記をご覧ください。

<http://www1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/kagakubussitu/kagakubuxtu180303.pdf>

(2) 環境経営(EA21)セミナー

- ・2018年3月27日に横須賀市で開催予定です。

【委員会活動の報告】

＝環境教育委員会報告＝

環境教育委員会 岡本正義

環境教育インストラクターフォローアップ研修会

「持続可能なライフスタイル」をテーマに9月10日(日)に7名の参加者を集めて実施した。日吉環境教育委員から食との関係について講演をすると共に身近にあるエコラベルの実物を見ながら、どのような意義があるかを紹介した。

その後、食に関する持続可能なライフスタイルについて参加者が心掛けていることについて意見を述べて頂いた。普段見慣れないエコラベルの意味が分かり参考になったとの感想が多かった。



持続可能なエコラベルの紹介

環境教育インストラクター応募資格取得セミナー



神奈川県太田課長の講演

主催：KECA、共催：ECUで神奈川県と関東地方環境事務所の後援を得て、10月28日(土)、29日(日)の2日間、12名の参加者で、かながわ県民センターで実施した。県の環境行政の話に引き続いて環境教育委員が実践している自然体験、地域を巻き込んだ農業体験、学校出前授業体験、企業内での環境教育体験などを紹介した。

その後は参加者が3つのグループに分かれて、生活・地球環境G、自然環境G、事業環境Gについて、インストラクターとして活動するためのプログラム作成を行い、G内で模擬授業を実施した。さらに各Gから代表が参加者全員の前で模擬授業を行い、授業実践力の向上を図った。参加者が12名と少なかったが、1日目の講演並びに2日目のグループディスカッションとも活発に意見交換が行われた。



グループ討議

かながわ環境・エネルギー学校派遣事業で

3校の出前授業を実施

9月13日に県立湘南養護学校で風呂敷包み体験を、10月31日と11月20日に木に触って、森、木の働きを知ろうというテーマで相模原市立広陵小学校、横浜市立義務教育学校 霧が丘学園で4年生に実験・体験授業を行った。

風呂敷は包むだけでなく防災にも役立つこと、木の太さを測り二酸化炭素吸収量を計算し、聴診器で木の音を聴くという初めての経験で、こども達は大変楽しく授業を終えた。



木の音を聴いています

【支部活動の報告】

＝横須賀三浦支部報告＝

横須賀三浦支部 高橋弘二

すかっ子セミナー2017

(小中学生の土曜体験プログラム)



合同発表会の様子

自然環境系4コース、生活環境1コース、創作科学コースに、小中学生約40名(延べ)が参加しました。5月に開講式(オリエンテーション)を行い、10月までの半年間、月1回の土曜日(ヨットコースはほぼ毎週)に、三浦半島の各地でプログラムを実施しました。

11月19日(日)午後、横須賀市まなびかん大学習室で合同発表会を開催しました。保護者を含めて約90名が参加、「すかっ子」全員が半年間の活動を元気に発表してくれました。

KECA 横三支部としては実行委員会に参画、5コース自然系A「川がき探検隊(7名)」、8コース自然系D「海っ子・山っ子(12名)」を企画、案内・指導を行いました。[高橋、中村、小島、遠田]

「よこすか環境教室」(小学校の出前授業)

10月18日(水)8時35分～10時15分、横須賀市立衣笠小学校5年1組26名・テーマ「昔と今の平作川～生物が生きられる環境について」横須賀市環境企画課を通じて依頼があり、担任の先生と事前打合せを行って実施しました。「今と昔の平作川・生物が生きられる環境について」地元で生まれ育った遠田氏が、「河口から上流部で見られる魚、水生昆虫、鳥、絶滅危惧種、外来種などについて」日頃平作川で活動している中村氏が、パワーポイントを使って説明しました。

その後、絶滅または滅多に見られなくなった生物、その理由について、子どもたちに考えてもらいました。そこで、県道久里浜田浦線の建設で産卵地が消滅したため、保護飼育している三浦半島の絶滅危惧種トウキョウサンショウウオを観察してもらいました。この後、11月3日(月・祝)、学校での発表会があり招待されましたが、二人とも都合がつかず出席できなかったため、参考になる資料を提供しました。[遠田、中村]



トウキョウサンショウウオ

長坂地区（沢山池）里山づくり収穫祭



3人でリズムカルに“餅つき”

お天気に恵まれた暖かな11月12日(日)午前、市民協働で実施している里山的環境づくりの収穫祭が行われ、参加協力しました。横須賀市の副市長も参加され、地元町内会、子どもたちなど約100名が参加。復元田んぼで採れたモチ米の“餅つき”を中心にトン汁、焼いもなどが振るまわれ、収穫に感謝するとともに「市民協働」の楽しさを確認できた1日でした。[高橋、中村]

その他の活動

- ・11月13日(月)午前、芦名堰ビオトープ再生・保全活動
- ・12月2日(土)午後、日本遺産「千代が崎砲台跡」見学会参加

＝湘南支部報告＝

かながわ環境教室の出前授業

「木に触れて、森や木のはたらきを知ろう！」

湘南支部 小山 稔

環境教育委員会がかながわ環境教室に申請した表題の出前授業が、依頼先の学校の希望日時や環境教育委員会担当者の都合などの理由から、急遽、湘南支部が代行することとなったので報告します。

(出前授業実施の経緯については5. に詳述します)

- 開催日時：2017年11月2日(木)、8時30分～14時45分の約6時間
- 実施校：茅ヶ崎市立小学校、対象は小学4年生4クラス150名
- 講師及び事前の準備については5. を参照願います。

[講義内容とワークショップ]

1. 多目的教室での座学(地球温暖化についてと森林のはたらきと生き物の関係についての講義)

(1) 地球温暖化についていっしょに考えよう(8分 担当 嶋田和夫)

IPCC 地球温暖化シミュレーションDVDを見せながら、地球温暖化ってどんなこと？

どうして起こるの？ このままだとどうなるの？ どうしたらいいのかな？ などクイズを交えて解説。

(2) 森林のはたらきと生き物の関係について(10分 担当 小山 稔)

当初予定されていた公益財団法人編「近く森に出かけよう！」のテキストのほかに、ジュニア農林水産白書の図表や一般社団法人日本植物生理学会の資料などを参考に作成したアニメーション付きPowerPoint資料を使って、森や木には様々な働きがあり多くの生きものの棲みかとして役立っていること、「樹木などの植物がどうして成長するのか？」と題して、植物の体(葉、茎、枝、根)が水や二酸化炭素から作られていること、樹木が二酸化炭素を吸収して成長することが地球温暖化防止に役立つことを説明。

2. ワークショップ（各クラス5班に分かれて実施）

子どもたちは KECA メンバーの指導の下、庭の木の幹に聴診器を当てて「どんな音が聞こえるか？」を調べ、校庭の樹木が活着していることに気づき、また、紙製や布製メジャーを使って木の幹回りの長さを測り、幹回りと二酸化炭素吸収量のデータから、校庭の樹木の二酸化炭素の吸収量を計算して、校庭の樹木が温暖化防止に役立っていることに気付いてもらった。

3. まとめ

まとめでは、全員にこの授業で一番面白かったこと？ この授業でどんなことに気付いたか？地球温暖化を止めるためにどうしたらよいか？と「質問したいこと」をワークシートに書いてもらった。

4. この授業の自己評価

子どもたちのワークシートのまとめや質問を読むと、校庭でのワークショップ（聴診器、幹回りの測定）が一番面白かったこと、樹木が空気中の二酸化炭素と水を吸収して自分の体を作り酸素も作っていることや、樹林が動物たちの棲みかとしても大切なことにも気付いて、自然や校庭の樹木を大切にしようという意見がたくさん書かれており、この授業の目的は達成できたものと評価したい。

追記（感想など）：今回の授業は座学から校庭でのワークショップなど長時間にわたり、かなりタフな授業でまとめの時間では説明不足のこともあった。

しかし、子どもたちの質問への回答書とアンケートの集計結果を後日学校に届けたところ、学年主任から子どもたち全員が書いてくれた授業へのお礼と感謝の手紙を渡されて、参加者一同は大変感動するとともに当日の疲れがいっぺんに癒されたように思った。



茅ヶ崎市立小学校の出前授業

5. 出前授業実施の経緯

環境教育委員会がかながわ環境教室に申請した表題の出前授業が、急遽、湘南支部が代行することとなり実施校が茅ヶ崎市立小学校ということで茅ヶ崎在住の小山が窓口を担当することになった。実施日は平成28年11月2日、対象は小学4年生4クラス150名。

早速、環境教育委員会の嶋田和夫氏と一緒に学校を訪問し、担任の先生方全員に今回の出前授業の担当窓口の変更、テーマの目的と授業内容（教室内座学と校庭でのワークショップ）、所要時間（90分）などの説明を行なった。学校としてはカリキュラムなどの都合から、当日の授業は多目的教室での座学（2クラス同時の20分間授業を2回）とワークショップ（クラス別に校庭で30分間および多目的教室でのまとめ作業15分間計45分間授業）に分けて、8:30～14:45の約6時間の間で実施してほしいとのことであった。

早速、支部メンバー4名（嶋田、西村、小川、小山）が集まり、具体的なスケジュール表の作成と教材の準備手配、ワークショップ担当要員（全5名）の追加1名確保の検討を行なった。

具体的なスケジュールについても FAXなどで学年主任と連絡をとり、学校の下承・確認を得ながら準備を進めた。また、今年は天候が不順だったので、雨天時のワークショップの機材準備も併せて行ったが、当日は幸い晴天に恵まれ、屋外のワークショップも問題なく実施できた。

=湘南支部報告=

茅ヶ崎市と藤沢市での環境フェアに出展

湘南支部 西村 堅一郎

今年度の湘南支部関連の環境フェアは下記の通りでした。

ちがさき環境フェア2017	9月23日(土・祝)	茅ヶ崎市役所本庁舎
第22回ふじさわ環境フェア	12月9日(土)	藤沢市民会館

いずれの環境フェアには企画実行委員、企画運営委員として企画からフェア実施までの実行部隊として小山会員、西村が参加しています。KECA湘南支部は両会場共にパネル展示(KECAの活動の紹介)とワークショップ(「浮沈子」「ペット砲」の廃棄物を使ったおもちゃ作り)を行いました。KECAワークショップへの来場者が多く、お昼ご飯も食べられないような状態でした。今回は横浜支部の大野会員の応援を受けましたが、今後は、より多くの会員から応援して頂けるとありがたいです。

両会場共にアンケートを実施しています。参加している人は同じ市内の、会場近くの人たちが多く参加しています。また、小学生の低学年、未就学児が多く参加していますが、中学生・高校生・20歳代の人が少ない状況です。子供の両親、祖父母と一緒に来場していますので、KECAブースでは、ワークショップで子供が興味をもって工作している間、パネルを見てもらっています。ということで、参加者が多かったのです。

茅ヶ崎ではスクールエコアクション発表会とか小学校の環境活動ポスターの展示がありました。聴衆が少なかったのが残念です。また、藤沢では、クイズラリー等を行っていますので、KECAでも海水温暖化に関するクイズを出題しましたので、サンゴを並べて、温暖化を実感してもらいました。来場者に温暖化の影響などを解説しました。みなさん熱心に聞いて頂きました。



ちがさき環境フェア の状況



ふじさわ環境フェア の状況

＝県央支部報告＝

県央支部 高山 進

海老名市サマースクール出前授業

□開催日時：2017年7月25日、26日

□実施校：柏ヶ谷小学校と有鹿小学校の3、4年生を対象に延べ参加数は70名。

□講師：県央メンバー7名。

[授業内容]

「電気コソコソ作戦」で電灯セット（白熱電球・蛍光灯・LED）、テレビ、扇風機、ヘアードライヤーの使用電力をワットメータで測定し、豆電球とLEDのある省エネ家族の模型を手回し発電機で体験し、その後、4グループに分かれて家庭での節電方法をまとめました。

また、実習では風車を作り、発電機を使ってLEDを点灯させました。

授業の目的は子供たちが家庭で節電の大切さを話題にしてくれることと、日常おこる問題に対してコソコソ取り組み、努力してくれることです。授業の最後には、グループ発表や実習の一番優秀なチームに表彰状を渡しました。



グループでのサマースクール



風車を製作中



株式会社リコー環境事業開発センター（御殿場） 見学会

6月15日、県央支部と横浜支部の有志11名で株式会社リコーの環境事業開発センターの見学会を行いました。全国12カ所に分散していたOA機器のリユース・リサイクル機能を集約し、その中で、省資源・創エネルギー（再生可能エネルギー利用）・省エネルギーの大きなテーマを取り組む実証実験の場としています。使用済みトナーカートリッジから燃料油や金属などの有価物を生成・抽出する「廃プラスチック油化」や、間伐材の伐採からエネルギー活用をする「木質バイオマス利用法」を実施しているところも見学しました。

地球温暖化など環境問題が深刻化する中で、産官学連帯のオープンイノベーションにより、多様な人材を生み出す場所になると思います。この1年間に4,300人余の見学者がいたようです。



リユース・リサイクルのコメントサークル



受付正面にて

＝相模原支部報告＝

市内の中小事業者様へのエコアクション21の普及と 市民への環境意識・活動の啓発

相模原支部 古屋伸夫

相模原支部は会員数7名で構成されており、市内の中小事業者様へのエコアクション21（環境省策定の環境経営システム）の普及と、市民への環境意識・活動の啓発を行っています。

エコアクション21の普及活動としては、6月にエコアクション21地域事務局かながわ主催のEco-CRIP（環境省のエコアクション21 CO2削減プログラム）説明会に出席して説明会の運営に協力しました。神奈川県内および相模原市内から10社の事業者様が出席され、熱心に説明を受けられました。出席者の方々は、それぞれ説明内容を持ち帰られてエコアクション21の導入やEco-CRIPの活用について検討されることと思います。



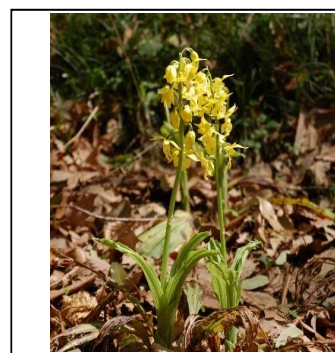
Eco-CRIP 説明会



さがみはら環境まつり

環境意識・活動の啓発としては、6月に開催された相模原市の「さがみはら環境まつり」にブースを出展し、当協議会の活動内容やエコアクション21の紹介を行いました。ブースには230名を越える市民や小中学生の方々が立ち寄り、相模原市内で見かける希少植物の写真を楽しんだり、環境カウンセラーの活動についての説明を興味深く聞いておられました。

4月には町田の「えびね苑」にて自然観察会を開催しました。相模原では準絶滅危惧種のエビネを始め、クマガイソウやアマナのような希少植物を観察することができます。参加者一同は、このような豊かな自然を提供してくれる生物多様性の重要性を改めて認識しました。



町田のえびね苑

【委員会活動の紹介】

＝環境管理委員会報告＝

委員会における各自の発表の積極的展開

環境管理委員会 茂木照雄

2017年10月度の環境管理委員会より前半を議題の討議にあてて、後半は各自から発表を行うて頂くことになりました。当発表の目的は委員相互の情報交換による審査の力量向上にあります。発表テーマは各自が自由にテーマを選定して頂いて結構ですが審査経験で得たノウハウや環境に関するものを優先させたいと考えています。

10月度、第1回の発表は小網・照沼・西村の各委員より発表を頂きました。

小網委員は、受審事業者より省エネに関する取り組みをどのように展開するかについて相談を受け、省エネ管理標準の策定を提案し指導した結果、省エネが進み多大な経費削減となり、事業者から大いに感謝されたとのことでした。

照沼委員は、工場長、生産計画責任者、営業担当が三位一体で協力し、生産計画を見直すよう強力に指導した結果、集約生産方式が確立され、段取り変えが減少し、千万単位の経費節減となり受審事業者より感謝されたとのことでした。

西村委員からは「フロン排出抑制法と空調機の省エネ」について発表を頂きました。空調機の省エネについては図や絵による説明を受け、省エネのポイントについて理解を深めることができ、審査における指導レベルの向上が期待されます。

エコアクション 21 ガイドライン 2017年版は2018年4月1日より運用が開始されます。審査員に対しては環境経営についてより深い理解が求められ、事業者の期待に応えるためにたゆまぬ研鑽が必要と考えています。特に受審事業者の強み、弱みを踏まえた課題とチャンスについて適格な助言が求められ高度な力量が必要となっています。

各自が審査員（人）として培った審査の経験、知識、ノウハウや業務経験などを出し合い共有することは増々重要となっています。現在の発表予定者の受付件数は少ないので再募集又は個別のお願いが必要と考えています。積極的な発表を重ねてお願い申し上げます。

【会員投稿】

SDGs と企業の取組み

横浜支部 石黒 芳樹

はじめに

2015年、国連は^{エスディーゼーズ}SDGs(持続可能な開発目標)を採択しました。SDGsは、エス・ディー・ジー・ズと読みます。ここには、17の大きな目標(ゴール)があるということから、SDGの複数形という意味で小文字のsがついています。

SDGsという言葉は、最近メディア等でも取り上げられているので聞いたことがあるという方は多いと思いますが、「具体的には？」というとなかなかわからないという方も多いと思います。

今回は、その基本的な考え方と実践についてまとめます。

(1) 共通価値の創造 (CSV: creating shared value)

ハーバード大学のポーター教授は、2006年に「共通価値」の概念を発表しました。「企業が事業を営む地域社会の経済条件や社会状況を改善しながら、みずからの競争力を高める方針とその実行」が共通価値であるとしています。

これまで、企業は、メセナやフィランソロピーという活動を行い、これをCSR(企業の社会的責任)の活動にしてきました。しかし、これらは、企業の外部の活動であり、本業ではありません。ポーター教授は、本業を生かして社会貢献することが共通価値の創造だとしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



17の大きな目標 (ゴール)

(2)企業の取組み

SDGs の採択を受け、日本も持続可能な開発目標(SDGs)推進本部を設置しました。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000252818.pdf> これが、持続可能な開発目標(SDGs)実施指針(本文)です。7 頁に、「民間セクターが公的課題の解決に貢献することが決定的に重要であり、民間企業(個人事業者も含む)が有する資金や技術を社会課題の解決に効果的に役立てていくことは SDGs の達成に向けた鍵でもある」という記載があります。

国際機関、国や地方自治体が取組みということも重要なことですが、ここでは民間セクター、つまり企業が参画することの重要性が強調されています。「SDGs の達成」という「共通価値」の創造に向けて官民挙げて取り組もうというメッセージです。

(3)環境カウンセラーの役割

SDGs への取り組みは、今、まさに動き始めたといってもよいでしょう。そして、これは上記の通り官民挙げた取り組みであり、この達成への貢献は、CSR の次世代型と言えます。私は、環境カウンセラーの活動の場がここにあると考えています。

このように、今後、中小企業を含め、企業への展開が徐々に加速していきます。その流れに乗れるかは、ここ数年にかかっているといっても過言ではありません。

SDGs を体系的に理解し、「どうすれば中小企業が付加なく取り組めるか」を熟慮し、取り組むということが必要です。

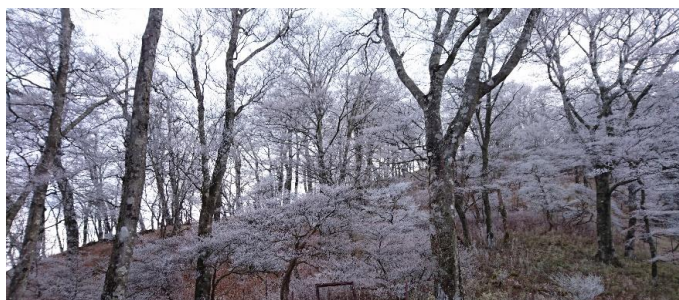
【会員紹介】<千葉副理事長の自己紹介>

横浜支部の千葉雅子です。2008年に環境カウンセラー(事業者部門)に登録され、その後、KECAに入会しました。

私は、1970年に電機メーカーに入社してプリント基板のメッキ液の分析等を担当しました。

入社してすぐに公害問題対策が重要事項となり、工場排水分析も担当するようになりました。その後、安全衛生関係の作業環境測定や製造技術部門での故障解析も担当しました。やがて、塩素系有機溶剤やフロンの使用が地下水汚染、オゾン層破壊等の面から代替溶剤の検討がなされました。この時は、実際に基板の洗浄性能や洗浄機の実験評価等を行い、社内で成果を発表しました。

また、鉛はんだは優れた接合性を持っていますが、鉛の有害性の面から、鉛フリーはんだの評価実験等も行いました。



2018年1月20日(土)に、仲間5人で丹沢の宮ヶ瀬から高畑山、丹沢山、塔の岳を通り、大倉へ、10時間程度歩きました。丹沢山の山頂付近の霧氷がとても綺麗でした。



その後、グループ企業間で相互環境審査を実施していたのですが、ISO14001認証取得、マネジメントシステムの維持向上が必要となり、社内に環境管理部門ができて、環境管理部長などを務め、環境管理、安全衛生管理を進めてきました。

電機メーカーを退職してからは、専門学校で環境テクノロジー科の講師を務め、自分の経験してきたことや学んだことを学生さん達に伝えていこうと思っています。今までは、なかなかKECAで活動ができない状況でしたが、今年度から副理事長と横浜支部長をさせていただくことになりました。横浜支部では、エコアクション21普及活動や環境教育事業、自然観察会、自己啓発（見学、講演会）等を行っています。先輩会員の皆様のお話を伺いながら、KECA内の交流を広げ、少しでもお役に立てるよう活動していきたいと思っています。

新入会員 <自己紹介>

・氏名：萬 一豊（よろず かずとよ）
 ・所属：横浜支部、環境管理委員会等
 はじめまして 新入会員の萬 一豊と申します。
 昨年10月に、食品・化粧品会社に転職し、横浜にやってきました。現在、鶴見でバイオ燃料の実証開発に携わっております。
 前職は総合化学会社で35年、エンジニアとして食塩電解工場の運転技術や新規事業開発を担当しておりました。
 10年前、新規事業開発を担当していた頃、おokayama環境カウンセラー協会に賛助会員として入会したのが縁で、エコアクション21審査人の資格を取得し、年数件ではありますが審査人活動を続けています。
 本業がありますので、フルスロットルでの審査人の業務は難しいですが、環境カウンセラーや環境教育インストラクターの資格取得も目指していますので今後ともよろしくお願い致します。
 抱負：まずは環境カウンセラーの資格を取得する

第22回通常総会(予定)

- 日時：2018年5月19日（土）13時～16時
- 会場：波止場会館（横浜・大榎橋入口）
- 議案1：2017年度活動報告
- 議案2：2017年度決算報告
- 議案3：2018年度活動計画
- 議案4：2018年度予算書等
- 特別講演：「(仮)SDGsと環境教育・環境経営」
- 17時～：懇親会（同会館1階）

2017年度 理事会開催状況

- 出席者：理事長、副理事長(2)、理事（6名）
- 2017年6月6日（金）18:00～20:20
6月度理事会 フクシア（横浜市西区）
 - 2017年8月4日（金）18:30～20:30
8月度理事会 フクシア（横浜市西区）
 - 2017年10月6日（金）17:40～20:20
10月度理事会 フクシア（横浜市西区）
 - 2017年12月1日（金）18:30～20:00
12月度理事会 フクシア（横浜市西区）

【編集後記】

出前授業・地域の環境フェアへの参加等、支部・委員会の外部に向けた活動が数多く報告され、グループ内での会員同志の情報交換も盛んに行われるようになりました。
 今後、支部・委員会間の交流をどのように進めていくか検討していきます。（河野）

〔発行〕 特定非営利活動法人

かながわ環境カウンセラー協議会（KECA）
 理事長：河野 健三
 ◇住所：〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1
 横浜ワールドポーターズ6階
 NPO スクエア内
 ◇電話：045-226-5822, FAX：045-226-5825
 ◇E-メール：37keca@kke.biglobe.ne.jp
 ◇URL：
<http://www1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/>

